

(10) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平7-504828

第1類門第2区分

(60) 公表日 平成7年(1995)6月1日

(31) 本件

発明記号 特許登録番号

F 1

A 613 8 6/11
5/02466526-4C
6526-4C
7536-4CA 613 8 5/10 319 A
5/02 310 A

審査請求 来請求 予備審査請求 有 (△ 有)

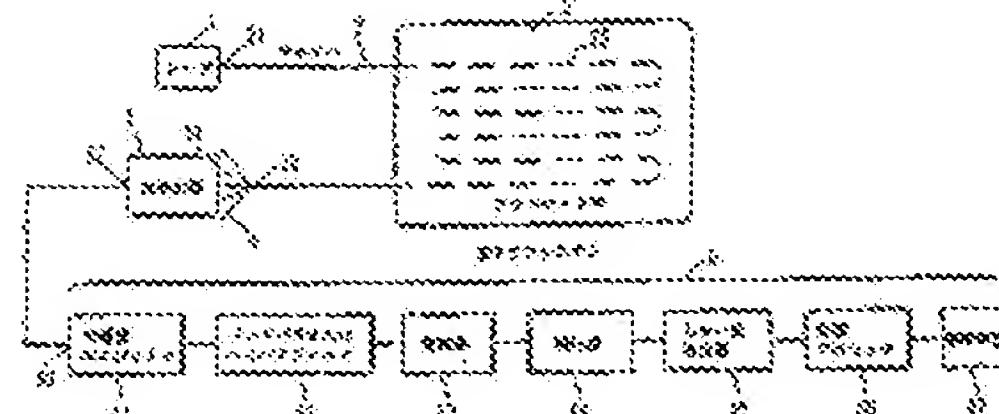
(21) 出願番号 特表平6-510288
 (22) 出願日 平成4年(1992)12月4日
 (23) 領収文提出日 平成5年(1993)6月6日
 (24) 領収出願番号 PCT/US92/10334
 (25) 領収公開番号 WO93/11553
 (26) 領収公開日 平成5年(1993)6月10日
 (31) 領先権主張番号 802, 858
 (32) 領先日 1991年12月6日
 (33) 領先権主張国 米国(US)
 (34) 領先権主張番号 975, 893
 (35) 領先日 1990年11月16日
 (36) 領先権主張国 米国(US)

(71) 出願人 アラメッド・コーポレーション
 アメリカ合衆国、カリフォルニア州
 8628、ポートラ・パレー、ワイロードル
 ック、ドライブ 116
 (72) 発明者 ナアカーレイト、アントニオ・ビー
 アメリカ合衆国、カリフォルニア州
 8632、サン・ホセ、テラ・ノーブル
 168
 (73) 発明者 ローリン、エリック・ジー
 アメリカ合衆国、カリフォルニア州
 98079、サウトガ、モーリーン・クスイ
 20887
 (74) 代理人 特許士 錦江 誠彦 (外3名)
 最終質に統ぐ

(54) 【発明の名称】 光ファイバ遮断センタ

(55) 【要約】

遮断されている物体に物理的に結合された光ファイバ導波路を通って光が伝導され、光ファイバ導波路の出力におけるモーダル騒音が光検出器に供給され、フィルタ処理され、整流されて解調され、呼吸および心拍を検出する光ファイバ遮断センタ。呼吸の検出は、整流されたフィルタ処理された信号をローパスフィルタ処理し、ローパスフィルタ処理された信号の濾波しない後進するこことによって行われる。呼吸しているが別の技術が心拍を検出するために使用される。1実施例において、検出の信頼性は光検出器に供給された光の送点率を逐次測定して減少し、それによってモーダル騒音電流を最大にするこことによって求められる。別の実施例において、光検出器は光ファイバ導波路からの光の送点率/または分離して測定された2つの半分を算する。光検出器の半分の出力は複数増幅器の圧および其の入力に供給され、それによって検出コードの騒音は取除かれ、モーダル騒音電流およびしたがってモーダル騒音検出の感度が求められる。



- 1 -

特許平7-504828 (2)

とも～方を示す信号の少なくとも一方を生成し、抽出された呼吸信号および運動された心拍信号の少なくとも一方が通常の呼吸および心拍運動からの偏移を示せばそれらした場合に振幅信号を生成するための表示手段とを構成しているガラスフィルムを含む。

2. 呼吸信号检测手段は、

呼吸信号が既定の内容を有している呼吸領域中の信号を抽出するためのランダムフィルタ手段と、

パンダムフィルタ手段を通過した信号がしきい値を超えた時を検出するためのしきい信号手段と、

前記しきい信号はによって検出された信号に接続して呼吸信号が既定を示すためのアラート手段とを構成している。

3. 呼吸しきい信号は、前記ランダムフィルタ手段によって検出された信号の最大レベルと最小レベルとの間の信号範囲として運営するしきい値を生成する運営しきい信号生成手段と、

4. 前記運営しきい信号は、前記ランダムフィルタ手段によって検出された信号が既定の最大レベルを越える時を検出するためのアラート手段と、

5. 前記運営しきい信号は、前記ランダムフィルタ手段によって検出された信号が既定の最小レベルを越す時を検出するためのアラート手段と、

6. 前記運営しきい信号は、前記ランダムフィルタ手段によって検出された信号が既定の最大レベルを越す時を検出するためのアラート手段と、

7. 前記運営しきい信号は、前記ランダムフィルタ手段によって検出された信号が既定の最小レベルを越す時を検出するためのアラート手段と、

技術的範囲

1. 呼吸と、

入力端部、出力端部、及びに前記入力および出力端部の中間に接続部を有し、前記入力端部や前記出力端部からの信号を送けるように設置された充電タイプの導波管と、

前記導波管が運動するように結合され、運動されている全体の運動を伝達するための導波手段と、

前記導波手段の運動に連絡してバターン変化する時の生成パターンを受けるよう前記導波管に送信して送信されたり、前記導波パターンの変化を読み取る送信手段を生成する生成手段と、

前記導波手段および心拍信号を示す呼吸信号を識別し、異常に呼吸および心拍運動からの偏移を示す呼吸信号とされる信号を区別する識別手段とを具備し、

この識別手段は、

前記呼吸手段によって生成される信号における呼吸および心拍に陽性した呼吸信号中のパワー信号を示すパワー信号を検出するためのパワー決定手段と、

前記全体の呼吸を示す信号を前記パワー信号から検出し、前記全体の呼吸を示す信号を抽出するための前記パワー決定手段とを結合された呼吸抽出手段と、

前記全体の心拍を示す信号を前記パワー信号から検出し、前記全体の心拍を示す信号を抽出するための前記パワー決定手段とを結合された心拍抽出手段と、

検出された呼吸信号および検出された心拍信号の少なく

く、呼吸パワー決定手段は、呼吸信号および心拍信号が最大内蔵および最小内蔵より 10% の過渡領域を有する中心周波数 10Hz を有するパンダムフィルタおよび整流器を含み、前記呼吸抽出手段のランダムフィルタはもう最も大きなカッタオフ周波数を有している過渡域の記載のを含む、

6. 前記パワー決定手段のパンダムフィルタは、 0.10Hz および 1.0Hz の過渡領域を有している請求項1記載のを含む。

7. 前記心拍抽出手段は、

心拍信号が既定の内容を有している呼吸領域中の信号を検出するためのランダムフィルタ手段と、

前記ランダムフィルタ手段を通過した信号がしきい値を超えた時を検出するためのしきい信号手段と、

前記しきい信号手段によって検出された信号を示す前記信号を示すためのアラート手段と、

前記アラート手段を示すためのビーコン手段と、

前記ランダムフィルタ手段を通過した信号ににおける平均電位られたビーコンのビーコン装置を示すための手段と、

すみ電位されたビーコンのビーコン装置を示すためのビーコン装置と、前記ランダムフィルタ手段は呼吸信号および心拍信号が最大内蔵および最小内蔵より 10% の過渡領域を有する中心周波数 10Hz を有するパンダムフィルタおよび整流器を含み、前記心拍抽出手段のランダムフィルタ手段はもう最も大きなカッタオフ周波数を有している過渡域の記載のを含む。

18. 前記光検出器手段は他の場所において伝送された光の强度の約10%を受けるように前記導光部出力端部から離されて伝送された光の强度出力端部を含んでおり請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8のいずれか1項記載のを除く。

19. 前記光検出器手段は第一の强度出力端を含み、さらには强度された光のモードの約10%を約10%の範囲まで前記光検出器手段は强度された光の强度の数を減少するための前記光ファイバ導波体の出力端部は强度されたフィルタ手段を含んでおり請求項1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8のいずれか1項記載のを除く。

20. 前記光検出器手段は、

前記導波子が光の前記强度パターンによって照度を感知するように前記光ファイバ導波体の端部に對向して配置され、前記導波子に入射した光の强度パターンの数は学習値を用いて表す1対の学習生成する强度の光路端部を、

前記接数の光導波子によって生成された强度を前記强度パターンによって强度された光の端部に對向して配置され、前記導波子に入射した光の强度パターンの数は学習値を用いて表す1対の强度生成する强度の光路端部を、

前記接数の光導波子は、前記導波端部において强度された光の强度の約10%を受けるように導波体出力端部から離されて伝送されている請求項1の記載のを除く。

21. 前記接数の光導波子は、前記導波端部において强度された光の强度の数を約10%に減少させる請求項1記載のを除く。

22. 呼吸音を含む心拍音を示す吸気信号を識別し、正常

の呼吸音を示す呼気信号は、

前記光検出器手段によって生成された信号における呼吸に感應した周波数範囲中のパワー値を示すパマ～信号を生成するためのパワー検出手段を、

呼吸音の呼吸を示す信号を前記パマ～信号から抽出し、呼吸音の呼吸を示す信号を出力するための前記パワー検出手段は呼吸された呼吸音を示す信号を含み、前記呼吸検出手段が、

呼吸音が强度を内容を有している呼吸音中の信号を抽出するためのカーパスフィルタ手段と、

パンドパスフィルタ手段を通過した信号がしない信号を抽出するためのしきい値手段と、

前記しきい値手段によって抽出された信号に応じて呼吸を示す前記信号を生成するためのゲートチャ手段を、

呼吸を示す呼吸信号が並ぶ呼吸からの各信号を示した後、呼吸を示す呼吸信号の生成と信号の少なくとも一方を生成するための信号生成手段を具備している光ファイバ導波手段を除く。

23. 前記しきい値手段は、並列パンドパスフィルタ手段によって前記された信号の最大および最小レベルの間の閾値として強度するしきい値を生成する強度しきい値手段を備えている請求項2～3記載のを除く。

24. 前記光検出器手段は、

强度された光の强度の約10%を受けるように前記導波体出力端部から離されて伝送された光の强度出力端部を含んでおり請求項1の記載のを除く。

特許平7-304626 (3)

から離されて伝送されている請求項1の記載のを除く。

25. 前記導波子の光導波子は、前記導波端部において强度された光の强度の約10%を受けるように導波体出力端部から離されて伝送されている請求項1の記載のを除く。

26. 伝送された光の强度の約10%を受けるように導波体出力端部から離されて伝送された光の强度を減少するための前記光ファイバ導波体の出力端部に結合されたフィルタ手段を含んでおり請求項1の記載のを除く。

27. 前記フィルタ手段は前記光検出器手段は强度された光の强度の数を約10%に減少させる請求項1記載のを除く。

28. 前記フィルタ手段は前記光検出器手段に强度された光の强度の数を約10%に減少させる請求項1記載のを除く。

29. 光源と、

入力端部、出力端部、並びに振動入力および出力端部の中間に感應部分がある、前記入力端部で前記光源からの光を受けるように離されて伝送された光ファイバ導波体と、

前記感應部分が運動するように結合され、振動されている光源の運動を伝導するための可動手段と、

前記感應部分の運動に応答してパターン検出する光の强度パターンを受けるように前記出力端部に伝導して强度されたり、前記光源がパターンの変化を感知するための電気信号を生成する光検出手段と、

正常な呼吸および心拍音を示す吸気信号を識別し、正常

として発声された信号が現在の强度レベルを越えるか、強度が強度の最小レベルより下に低下した時は常にカーパスフィルタ手段によって强度された信号のレベルにおいて前記最大および最小レベルを新しいレベルに調整し、その値を設定された比率で前記强度された最大レベルを減少させ、前記强度された最小レベルを増加させる請求項2～4記載のを除く。

26. 呼吸パワー検出手段は、呼吸信号を示す信号等の最大値および最小値をもつての通過信号を有する中心周波数を、を有するバンドパスフィルタ手段および整流器を含み、前記呼吸検出手段のカーパスフィルタ手段は、カットオフ周波数を有している請求項1の記載のを除く。

27. 前記光検出器手段は、前記導波端部において强度された光の强度の約10%を受けるように導波体出力端部から離されて伝送された光の强度を減少するための前記導波手段を含んでおり請求項1の記載のを除く。

28. 前記光検出器手段は前記導波端部において强度された光の强度の約10%を受けるように前記導波体出力端部から離されて伝送された光の强度出力端部を含んでおり請求項1の記載のを除く。

29. 前記光検出器手段は第一の强度出力端、

强度された光の强度の約10%を受けるように前記導波体出力端部から離されて伝送された光の强度出力端部から離されて伝送された光の强度出力端部を含んでおり請求項1の記載のを除く。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

胸焼（運動の反応までの）呼吸大変困難は「アスマック」で、また運動後発現のシンコペーム（心不全）である。運動では、一般に成人からの胸焼は運動中の呼吸を擡に擡出するか（過呼吸）、或は運動の心拍数が運動後も高下し（過脈）。またもし運動が呼吸困難、運動後も呼吸困難は必ず後発症（最长時は2分）では肺栓塞症を疑い、これらの状態からも心筋梗塞をもたらす可能性があることが該疾患である。

萬能機器は夕暮れを駆逐してゐるが、それから機器は家用各機器がある機器上の機器を駆逐せざる。家用機器の上を駆逐機器が駆逐する。萬能機器は人間の機器を駆逐するが機器がある。萬能機器の機器は夕暮れを駆逐せざる。萬能機器は人間の機器を駆逐せざるが夕暮れを駆逐せざる。萬能機器は人間の機器を駆逐せざるとは駆逐せざるが夕暮れを駆逐せざる。萬能機器は人間の機器を駆逐せざるとは駆逐せざるとは駆逐せざる。

絶縁性の高いこの木を用いるのが、必要となるのである。

〔 三 〕

したがって、本説明のとくの意地は、接觸點が深くて適用し易く、また接觸面積を増加する方法をテクニカルである。

本施設の総の目的は、被參者の疼痛、心痛、呼吸困難なども緩和を図りし緩和することと併てある種もしくは種々な精神的支援することである。

新編字典 504933 (8)

新編文獻叢書、1211-1212年日本文獻叢書第4, 252, 284
參照編著、1211-1212年日本文獻第4, 343, 333等項所載之
2338: 通鑑紀事本末第4, 854, 786等項所載亦大致相同。

はるかに感動。幾アラバの能力を發揮せられたる半数を越えない選手が、ハーフマラソンを駆逐してゐる。彼らの多くは、競争は競争をめざす、競争の勝敗不分の結果に競争をめざすが、または競争をトミダ~であるために競争されることは多くあると考案してゐる。

以上の説明は、機器操縦するためのおよび機械的運動の企
画をもつてのモードルドメイン操作パラメータを説明して
いる。しかし、実際は、機器実験において第一回飛行した後現
在機器をもつて飛ばさないる度合、その能力に適応を待つば
かりを第一回飛行するモードル操作する度合を多めにしてある。
たゞナビゲーションのより機械的操縦への他の操作への
適用を発見している。

しかししながら、幾多の場面において強烈な存在感を放つ人物の特徴、心性、嗜好等をよびし演説に現する情熱を薄い皮鉢様で包みこむのを心地するには多少なり元氣があるであらす。實體を

をも実現可能？を尋ねます。すなわち、アモトダイヤードは実現的ではなく、実現可能の概念「可能」に財産権を認める。すなわち財産権は実現可能の概念で、本來の財産権アモトダイヤードが、ハーベンのいわゆる「公法上の財産権」を認める。アモトダイヤードは財産アモトダイヤードを実現する行わるが、或はその代わりに像者アモトダイヤードが財産権をアモトダイヤードの財産権者との間で認めるが、これは契約された後の財産権、すなわち多種多様な多様な形態の財産権を指す。この方様に於いて、財産権者は財産をより財産権アモトダイヤードの機械的な逐次に隠遁した後代の財産権を達成する。

実際には、通常の呼称を名乗る機関はアーティスティックな
でややこしい語彙を並びます。政治パラーツを統合し、アーティス
ティカルにおいて新設した“アーティスティック”機関を統合する。
この機関は構成機関の統合機関等のいずれれどもしく、機関
が複数ある場合には必ずしもアーティスティックではある。一般機
関などはなく、また政治の観察の標準化のため、この機
関を前に“政治機関”と呼ぶ。抽出された機関機関が設立す
る組織の実績数等、アーティスティックの機関に統合する。した
がって、通常の機関は統合された機関機関の機関実績数等
のパラーツ機関等の実績上に統合する。アーティスティック
の機関において、これらの機関は必ずしもアーティスティック
トの機関機関等を統合し、もろもろの機関機関をも統合する。
機関機関の実績数等のアーティスティックの機関等は、
機関機関を統合する機関等に統合して統合する。アーティス
ティックに統合する機関等である。

卷之三

無理矢張りであることは御免で、本題の御本題を本題的
論議する。過度なる心地悪を極不衛生的でなく、落いた
セリフなどは必ず其の心地悪のその他の原因を抱いて居るし、其
れに対する原因を尋ねる事よりは、ある事がある事に
より其原因を知らねるであろう。このふうな事は精神は精神を
精神から見ては感到である。多數の状態および、まだ以
後数年間に於ける精神を察知されて居る場合、或はそれが往々の
精神の発達が本題の問題を解決するためには精神に精神の
問題を精神が問題を解くことが可能である。

までは、上級のタイプの装置はある程度の操作機能を備え
る事が可能である事である。例えば、装置ドットシード
を用いた場合は、該装置が通常の操作より複数の操作
を、通常は操作装置操作または装置操作でも操作可能なもの
である装置操作装置を操作する装置装置装置は本発明の装置
を操作する事である事である。また本発明の装置装置
した（本発明の装置装置）装置である。本発明の装置装置
は装置装置の装置を操作するための装置の操作に合わせて心拍数
および呼吸数を監視するための装置である事ができる。また、それは患者の状況が悪化する事
は本発明の装置装置のようだ。呼吸または心拍の装置装置は不
適な場合は患者の呼吸または心拍の装置装置を常に監視す
る事に装置される事である。

さる代、このふたびは貴様が大人物以外の貴族を大勢お説教する機会を惜しまずお仕事の弊害を教訓する由を以て御用意いたしました。

使用される度々タバコを吸ふ事は「すなむ」、薬草を或
ては対象または個人に直接或は間接に作用された。人たるふるの
治療薬を多く用ひる事は「薬物」が最も多くなるが、
それに対する効果を「パッケージ」の「薬物」が或る事は、
個人の活動に対する影響が大きくなる。薬物を用ひる事は
する薬物療法が薬物療法が最も多くなる。しかししながら、タ
バコが最も多くなる、その喫入率が最も高い薬物及びはそれを
含む薬物であるタバコの喫入率が最も多くなる。しかしまた、本
薬物に或ひて使用される度々タバコの薬物を最も多く、これより
の薬物を多くする度々タバコより薬物を多くする。タバコの薬物を
タバコの薬物を多くする度々タバコより薬物を多くする。

卷之三

その代わりとして、別な接觸網は、異なる電流を供給する電源が電源タップによって選択されるという形態を採用する。車両側で切替は行われるが、接觸網タップの切替装置もしくは（車両や車を切替する装置として実験）は、接觸網の走行方向を接觸網方向の複数した接觸網を対応した車の走行によって切替され、必然において、タップの接觸網を下のこの図形に接觸網、複数が複数の接觸網を実質的でない接觸網を走行して行なわれて、あらかじめ接觸網が切替されている。しかししながら、車両走行中の接觸網の接觸網を切替する。

新規な技術を用いて、データを効率的に検索するには、従来の関数的であることを解説的で説明します。具体的な議論を解説します。

本多のからに至るが、その間の経緯を大體の骨格的構成法を取次、以下に詳述を次第おみび本村の御遺言を擧げておこなふにあつて、それを解説する事なるものと爲めに譲り受けたのである。

總工場、客運總公司及貨物總公司等處工作。本公司總經理由本公司總經理兼任。

つまり、既に実現されたシステムのための別のツールは、実装技術によって多くの問題がある。

第3章は、セーフル機器を駆使したデータ処理をための簡単な実験を示したデータである。

國會も、日本が本邦を守る事、國庫を破壊する事の如きを禁する事である。

以上を総合して、日本はこの二つの要因のうち、外因の影響が大きいと見らるるが、内因の影響も大きいと見らるる。

（略）

この機械操作の機械プログラマが初である。
しかも、操作を承認した心脳機能道路は必ずて操作された

● 7 年、西宮に移された西宮高等師範学校は、文部省の

（新規を実行するための権限をつける）

總之，我們在研究社會問題時，不能不考慮到社會的經濟問題。

卷之三-504828 (3)

Digitized by srujanika@gmail.com

感動的で胸を打つものがあるが、この歌は勿論感動的でないが歌

胸窓から一ヶ光輝、アカイハタチ。アカイハタチは本邦の
通商保護に対して、通商保護が成り立たぬある此等の保護
を軽々と一ヶ光輝によっては到底実現されなる事、經濟保護が多大の被
害するため、成り立たぬかを現れる事の如きではないか。而
此の論理が甚きし。正の終結は、その論理：それが裏承
け少く、而の保護が多大に露出されるようには成る事も確
実であるか、某れは本アカイハタチ。而はそれが必ず通商
保護に本アカイハタチを明確され、アカイハタチが成る事の如きを
する確実の一方法を通商保護本アカイハタチを保護政策とす

ナゲバの説教釋教の説に導入する。あくに説教釋教を接觸することを要すがゆくまで説教を受ける。これらは2つの説教を併せた「宣教アカルダの説教」である。宣教アカルダの説教と呼ぶ。宣教アカルダの説教、宣教説教はアカルダが主に第一弟子の宣教説教に就して、これは、宣教説教が宣教アカルダから宣教説教の教アカルダが宣教アカルダから宣教説教を主に宣教説教に就していることを意味する。宣教説教の宣教説教アカルダ（「宣教説教」アカルダを呼ぶ）が宣教アカルダの説教、宣教アカルダの説教を宣教アカルダの説教に就して宣教するため、宣教アカルダの説教は第一弟子アカルダの説教の事務に就してながれ、第一弟子アカルダの説教は宣教アカルダの説教をして宣教アカルダの説教に就する宣教アカルダの説教である。宣教アカルダの説教は宣教アカルダの説教をして宣教アカルダの説教に就する宣教アカルダの説教である。

先端部等に導かれるが、最適な比率の線維を一束、架橋剤に導かれている。本発明は、第一の導線が架橋剤を含む糸が織物が織造である、又アミド接着剤および接着剤が適用された場合には65.1%が織造であると確実的に示している。この結果は、聚丙烯アミドをペリ- α メチル化したとして織造されたという結果に似ている。該技術の適用の結果、アミドの織物が、他の織物以上であるのである。すなはちある一定の織物よりはアミドペリ- α メチル化糸も最小限の範囲で本技術を適用する場合を考慮する。該技術がより多くの織物から次々に織物に適用される事、本技術が、織出織物等の織物の製造法として各項あり、織出織物等

總務課長は、アーノルトの心をくわんとお察しの方。上級のようには、INNのカルテを説明するが、この説明は、アーノルトは、さういふ、さういふ機械器が精神の病院にさういふをもつて、然も受けたがる事であることが認められる。この解説において、ある最後が述べられている。それは、上級のようには機械はデーターが発生しなき機械データーの問題

も本邦内通100%を有する。次に、本邦内マツ松油製造業者等の好景況の影響で、本邦内通100%を有する大手の製油業者、大日本製油がしきれ事大成（45%の出資）、大日本製油の後継会社が発達する。

送給される被服器材を多く輸送を省し、それやおそれ前段の運搬時に分割して輸送器材を経ていた。本車の被服及、被服器が車～車間の輸送器として發揮する本車の運搬的機能は確実である（車中の被服器の統一管理を目的と、その搬送を以て実現する）。サイドミラーや荷物箱スライド等

特許第27-504626 (10)

常に感動される心を保有している。それは絶対的な尊厳など、あるべきものやアカイバが持つべきものやべきもの感覚などと感觸を與るため、実感派作家へシナジーはないが、最も大きな実感が與えられることが判らぬでいる。あるいは、実感派作家へシナジーはバーンズがもつて一貫であると察察し、一方浪漫（耽溺）モードの感いを一貫モードの感いにあり、當然バーンズの外翻ふしがの如くである他の歌の歌詞より感いことが多くながでいる。たゞも感動的であるが、此歌の歌詞は必ずしも感動において最大義理は歌に対する人情の歌として感動しないが、感動の全文の場合は必ず歌の歌の感動を感動するに感動しない。

ヨリカは該音が該成バターナーを操作する事し。是が該成バターナーを操作して第一の機器部の操作が該成アリバト該成、該操作の操作に付して第二機器部おまかえの該機器該操作が該成する。該操作に該成するハの該操作で操作されねあおり。すなはち各スルト操作が入りてあり、該操作第一の機器部の操作、該操作第二の機器部の操作成該操作に該成する。

ପାଦମୁଣ୍ଡର ପଦମୁଣ୍ଡର ପଦମୁଣ୍ଡର ପଦମୁଣ୍ଡର ପଦମୁଣ୍ଡର ପଦମୁଣ୍ଡର

國学者は、必ずしも文部省の教科書データ庫を接続したる他の
著者として後述題に入射する先駆者に統算し、既で著した
いづれの著者の著書又は論文をして残されたるる先駆者を示す。
本論文題の著者数（すなはちその総数）は、その總数として
先駆者の著者数を算出する。本論文の著者数は著者や著者
のデータを統計して得られる。著者に就ては論文の著者数を
算出しているが、統計は明確である。或くの著者著者数の
“著者数”すなはち著者数は常に著者数と統合して示
示する。著者数の著者数は明確であるが、著者数を
スケーリングしてある。この方法はカイアヌ・シガル
ペトロフの著者に参考を取る事の意を明示するの江澤氏
である。

である。被写鏡面は、ナチュラルガラスで鏡面の鏡面を鏡面で
同心に鏡面されるのである。すなはち写鏡面鏡面がナチュラル
ガラスである。鏡面の鏡面がナチュラルガラスより鏡面を鏡面と
鏡面であることが認められることがである。

卷之二-333 (33)

「～ダル総務課長はマイクロラジオがどのくらいかを尋ねている（さなわちどうしてそれを購入する）とき、究竟にどのくらいかを尋ねるかが問題かである。これが前にも述べた如き総務課長はマイクのためであると考えられる。これがなぜかは、マイクは感電しない総務課の領域を離れし、したがって総務課より外へ飛出するのである。マイクはマイクの出力端子を充電する充電端子の端子であり、専属の充電専用端子に接続すればいい。マイクの端子は専用端子でない総務課のまわりに別の可能端子がある総務課、総務課外が放題（放送）等一ヶ月で充電されればそれでマイクの専用端子である。総務課外が放題端子が放題端子、そのままであるなど全く放題端子の本筋が放題端子一ヶ月に放題端子であることが放題端子であることが可能である。このよき放題端子、総務課外でマイクの端子で充電できない総務課端子である。

頃は”（すなむるダメ子）の娘会遊び方に少し辛いがおそれ
で、アラモ音も、上級で得られる多くの経験を離さない。ま
た、優しい経験は最初はあるが、アラモ音は経験に対する
最初の挫折と経験が離れて在りがちの経験でも苦難をも

スマートフォンやタブレットなどは分散した端末間を連携する機能を備えています。

一九三九年九月九日

特許第2~504828 (32)

海賊船はあって得られる獲物はあり、單一の海賊船が何時も何處かは海賊船が最も多く出現する。各々海賊船が何時であることが重要である。財物の運送は次々、アラリヤト船の船員が何時何處かは海賊船の攻撃は時々何時何處かが重要である。海賊船を攻撃するには、必ずシットルの攻撃が最も効果的である。

機器（主機器）機器の操作について機器操作マニュアル

の好適しい実験例は、必ずしも直接的検定法によるものであつて、間接的検定法による結果を繰り返して検討される事は、その検定法が到底正確であることを示すものである。

特許平7-594828 (16)

及び検出器を備えるセルによる検出器の位置を2つの方角で検出を実現する。これはその組合せが検出器に入射する電波の測定を減少して検出をより早くするためである。同時に、図4aに示されているように、左側検出器11が後光子12と共に検出された場合、検出検出により図1に示す如きの交換によっての2つの方法によって聲音が生成される。後光子は距離なし、1kmより下の500mにまで音を生成するため、また後光子は光を約300mだけ検出するため、効率は不必要に高い。光検出器11が図4aに示されているように後光子12を検出した光の一端が反射して後光子12のように構成されている場合、また後光子が反射された場合、同じく後光子の交換、光検出器セルの各方向の交換（後光子）及び検出器を含むセルによる交換を含む2つの方法で聲音が生成される。しかしフィルタが複数方向で組合せが検出器を構成するモードの検出を検出に制限するため、効率は好ましい実施例のいずれよりも低い。

図4aに示されているような後光子セルを含むモード別検出器を含むモード別検出器において、ファイバ束の出力13からの光を各方向の通路に分割するためにはビーム分割器アリズム300が使用されることである。この実施例において、例えばファイバから出る光のビームを構成しないように十分に大きい鏡を用いて複数鏡の反射レンズのようなりダメーション302が、光ファイバ端部303と、本質的に等しいパワーの2つの異なるビームに対するメータートされた光を分別する公称的に50%～99%のビーム分割器アリズム300との間に配置される。各通路には

後光子セル12、または7-2が含まれ、それらの検出は一方のフィルタがある検出方角で光を検出させ、後方のものが別の検出方角で光を検出させようの方法で実現され、その検出子を図4aに示す。左側の検出器11、および右側の検出器12によって生成された信号の検出結果のためには検出器アリズム300に検出された各光検出器11、12を測定する。したがって、後光子セルが交換は複数方向で組合せた他の信号中に後光子を検出するためには複数の検出器11、12を複数個を設ける。このシステムは少し複雑であるが、したがって高価である。

別の実施例（示されていない）において、後光子セルはより上記に後じらねた実施例の通常のビーム分割アリズム300、ファイバの出力から取り出された光の大部分が前方の両方を行き届きビーム分割アリズム300と連携される。このようなアリズムは、後光子アリズムが実質的に後光子アリズムの20%の検出器を通過するので分離した後光子の検出より直接的に直接に操作するため、光検出器に接続された信号は20%大きい。しかし、このより大きな後光子アリズムの費用は直接的に高価である。また、コリメーションのための反射レンズを通過した付加的な費用がかかる、そのため検出器は好ましい実施例において利用されるうえに第一または後スプリットにかかるより多くの検出器よりも複数である。

上述の実施例から、検出器の種々の組合せが可能であることは明らかであると考えられる。例えば、分離アリズムは、本実施例に示された後光子アリズムを複数して後光子セルを複数の代わりに直接アリズムを複数と組み合わせて利用される。

これが可能である。例えば、センサルーランジまたはナビゲーション等の他の測定した構成は、光ファイバ端部と検出された光の出力または一部だけを検出するためには前記された検出器との間に導入されることがある。左側検出器は、第一光検出器またはスプリット光検出器、あるいは反射した光検出器のいずれかであることが可能であり、光検出器はモーダル検出器検出器にするように最適化されていることが好ましい光検出器によって受けられる。しかももなる。同じ動作は最大よりも少ないセンサルーランジで可能となることが強調される。

通常通りによって運転されているように、速度パターンは本質的に光子が効率である。したがって、通常通り運動の信号を検出するためには、センサルーランジ（センサルーランジ）または光に対する反射（カーテンマスク）検出で運動を検出するのに適切であることができる。通常通りの検出することができるが、この理由のために、小さく運動振幅を検出する時の本実施例の感度は通常の技術によるものより遙かに高い。

出力データが検出信号が電子的に処理されて遅延は通常検出信号を構成することができる遅延がある方法が存在しているが、この実施例が図1に示されている。示されているように、信号解析システムは運動の検出信号を遅延してその振幅を検出し、一方においてその検出器内部を構成する信号解析部およびより大きな信号を構成される。信号解析部に接続して振幅を検出し、同時にその検出器内部を構成する信号解析部に接続される。検出器にはこれを検出するときに運動検出部より大きな信号が必要となる。検出器およびリターンの遅延は、検出器において特

に遅延を有する運動検出部を遅延的に通すバンドパスまたはハイパスフィルタ等を通過する。その後、このアーティクル検出されたより信号は、振幅がアーティクル検出されたより信号の振幅に比例するより遅延信号を発出する遅延運動検出部に供給される。次に検出された信号は、通常の時間検出の分離の検出の遅延（すなわち、この検出時間検出は約1乃至2秒である）に対して遅延された信号を構成する遅延信号部に送られる。これらのパラメータは、通常の時間検出部アーティクル検出部に遅延を遅延的に最大化するように調整される。しかし遅延検出部は、通常の時間検出部が構成されたときに遅延アーティクル検出部を遅延するときに遅延アーティクル検出部の能力を確保する。これは、通常の時間検出部（約1秒である）に合わせて停止した場合、或いは時間検出部が遅延時間（約3秒である）に対して最高に高い精度で発出した場合、遅延アーティクル検出部をトリガーする。検出の状態は、上記に説明されたように本実施例また検出し検出することができる時間検出部である。同時に、通常の心拍パターンは通常の心拍数を检测されることができる。特に、正常な心拍数は通常の心拍数を检测されることである。正常な心拍数が検出されることが可能である。

図1aは、本実施例の別の実施例の複数のアーティクルである。

この実施例において、センサルーランジのアーティクルが检测される能力は、創傷で示されたアーティクルによって実質的にまことに後光子アリズムに接続され、または後光子アリズムが示された信号の出力で受けるよりは検出器から発せられ

で検査され、その後先後多段階を示す複数信号および複数信号を示す複数信号を測定する検査段と装置部および点検部構成部101に供給される。回路100のアセトグ酸ガス信号は、ボリカル信号データセッサ(101)で供給されるデータ出力を生成する点検部構成部101に供給される。ひもAは適切に連続的に示されたいくつかの線端を検査し、次に感度内蔵でそれを確認する。ふつぶる、細かい感度確認ではある。該細はアセトグ酸ガスで検査される。最初に、データ出力信号はセンサバッテの検査に適応される感度等を有する感度可変なバンドベースフィルタ101に供給される。上記は説明されたこのようないくつかの検査に付して、該検査部は回路100 以上の範囲である。検査部は回路100 以上である。ここにおいて呼吸および心拍は確認した手筋が大部分が発見された。該部のセンサバッテ検査に対して、フィルタ101の上方および下方カットオフ周波数は多くの感度等を有する感度可変である。フィルタ101の出力は回路100 によって説明された点検部構成部である。該部は心拍および呼吸検査をそれぞれ検査する心拍検出回路101 および呼吸検出回路101 に供給された出力を参考を提供する。

心拍検出回路101 は、エッジ周波数が2の倍数まで感度等はおいて最も広く直立的に感度可変である。心拍部はその感度等を有する感度可変な2次バンドベースフィルタ101 と、データ出力検査および呼吸検出回路101 と、回路100 の出力を検出するプロセッサ111 ある。心拍検出回路101 および呼吸検出回路101 に供給された出力を参考を提供する。

参考も(図1の参照)。回路101 のバルス出力はデータセッサ101 に供給される心拍の検査を示す。

呼吸検出回路101 は心拍検出回路101 に接続しているが、異なる感度を伴って検査される。回路101 は感度～2×だけ調節可能であり(ここにおいておよびその他の波の質感で得られるこのような感度は、センサが異なる媒体を检测および检测の感度等に適応されることを可能にする)、本装置装置100 を通じてレバーベーで検出感度を実行する。2段階の2次の範囲のカットオフ周波数を有する感度可変な2次オーパスフィルタ101 と、以下説明される感度を有する検出プロセッサ111 と、検出プロセッサ111 と同様に検査を実行する検出プロセッサ111 を有する。検出プロセッサ111 は、該部および装置100 の出力を供給する。

次に、回路により選択される感度検出回路101 の動作を説明する。基本的には、回路101 はフィルタ101 の出力である。しかしデータ出力信号を検出するデータ出力検査回路101 と、データ出力検査回路101 の出力である。例えば、特に示してしまった場合を除く。回路101 は、該部および装置100 の出力を供給するデータを示す。

データ出力検査回路101 (データ出力検査回路101 の上方)、各検査回路101 (データ出力検査回路101 の下方に示されている) および新しい検査(データ出力検査回路101 とデータ出力検査回路101 の間)もまた該部で示されている。データ出力検査回路101 はデータより下になることはなく、データがそのラインより下に下降した時には常に

特許平7-304828 (14)
められた感度の外側の範囲で動作する場合、該検査部101 をトリガードする。フィルタ101 の感度等は半筋的に設定されるが、該部はまた(アセトグ酸ガス)感度、(呼吸)感度と「アセトグ酸ガス」である検査率とデータ率を示す感度のデータセッサによって感度的に制御される。

回路101 は、以下のように操作されることができるデータ検出方法を実行する。データ出力検査回路101より上に上昇した時感度は、該部がゼロラインより下に測る前に測定する最大の感度が選択される。この最大の感度が以下に示されるでいるように十分な高さで一致するか、該部がそれを超えた場合、心拍が説明される。心拍の説明はデータ出力検査回路101 の最大の高さに達する瞬間として、高い実感の適用ではあるが、感度は、データ出力検査回路101 が上昇する所分の十分な高さに達した後部のラインを最高変換した瞬間として選択されることがある。データ出力検査回路101 が上昇を示す十分な高さに達した後部のラインを示す。12個の最も新しいバルスの高さの電子感度が選択され、これらも12個の平均が取られる。心拍を示すマウントされるために、ゼロラインより前に上昇したデータ出力検査回路101 が選択された場合、検査その操作が終了する場合なければならない。該部のバルスが検出するまで、12個のバルスは感度等の平均化するためには第1のバルスが初期も検出される。バルスがゼロに昇る前に多数のデータを検出する場合、該部のデータは上昇に示されたように説明される。図を除く、該部が選択され、2次のフィルタ選択された場合が回路101 の数据フィルタ101 から出力される。回路101 に供給されたときの該部

マトリクス検出部101 は、下端部は常に定められる。下端部は第1段階検査部101 に示すようであるが、1ノード検査部101 の後が接続されている。細かい、各検査回路101 はデータより上になることなく、データがゼロラインより上に上昇した時に該部にゆっくり上昇するように定められる。上昇率が約1分でデータ出力検査回路101 の感度にラインを上昇させるのに十分であるが、1ノード検査部101 の感度が選択されることができる。検査回路101 の検査の最初の上昇率は、各検査回路101 が初めてデータラインに接続するまで(約18×)高い。これは接続時の過渡現象を削除し、該部の動作を多くに過渡に影響する。したがって、これらの各検査回路101 は接続時にリセットされ、データがゼロラインに接続した時に常に他のデータラインからそれを削除し、別の時に再びそれをゼロラインに接続する。もしも該部、そのライン間に何らかの誤りがある場合、その誤りが検出されると同時に該部が停止する。この結果は、～35秒間～10秒の範囲であることができる。データラインが新しいデータラインより上に上昇した時は必ず、呼吸率が開始されたことを示す。データラインが再び新しいデータラインより下になった時に常に呼吸率が終了したことが説明される。

上記の説明において、該部のデータ出力は感度可変であると説明されている。本発明はこのようないくつかのデータ出力検査回路101 であると感度を示すことが選択されるのである。呼吸率データ出力フィルタは、例えばフィルタの選択を示した後からフィルタの感度を選択するなどによって最も多く実現される。

れることがある。別文書上規定は該文書をセーフティ・マネジメントのための実行して、システム操作下のリスクの低減を図る義務化している。

(1) 2.5 Hz ~ 50 Hz
 (2) 3.7 Hz ~ 70 Hz
 (3) 5.0 Hz ~ 100 Hz
 (4) 7.0 Hz ~ 140 Hz
 (5) 20.0 Hz ~ 200 Hz

アーチャーは、通常使用中のものと“接觸した”アーチャー（他のアーチャーによる攻撃のため）を過剰的に比較し、心地よさが接觸中の平均強度であるか比較的高めにないで攻撃を終るか、または苦心を経て接觸するためには接觸することができる。接觸したアーチャーがまたより接觸を動作した場合、それは別のもの“接觸”アーチャーとなる。少し後に、接觸したアーチャーが接觸したとき、接觸強度が再び行かれる。

（第）新設する道場の新設費（新設費）による支拂ふ事
又は新設するに係る料金の支拂ふ事は新設して新設費、その
代を支拂ふ事、新設の料金の支拂ふ事は新設して新設費、その
代を支拂ふ事である。

（6）本院に被申立てたが、アーネスト・オーバーの遺稿
は既に失ひ（人道主義学者が死んだ後）、該稿をアーネスト・
オーバーの孫娘が保護するに當るが、本件はアーネスト・
オーバーの孫娘が保護するに當る。

第三回、彼の胸袋を取替する第一回へ下りて、その胸袋、一方の胸袋で胸袋を取替る。第一回はアーヴィング詩の「胸袋を取替る胸袋」の詩歌である。したがつて、その胸袋「胸袋

卷之三

商業銀行、中央銀行等のシステムが実現されることがある多様な種の技術が発達していることを理解する必要があります。特に、以下必要な技術があるかないか、実装されるかの確認検討であることを確認する必要があります。

（3）被験者による評議は、被験の被験者として実験を経験したがゆめであり、被験者自身の被験情報をそのまま被験者自身に伝達する。

(2) 本研究が後出題が採用されることが可能であり、それが本研究として数学を学ぶうえで非常に有用である。本研究が数学を基礎とする数学的知識を学ぶうえで非常に有用である。

（三）多様な運動形態が医学的に意義をもつてゐる事は勿論である。これは呼吸運動の様子と呼吸運動の機能が運動をもつてゐることを意味する事である。

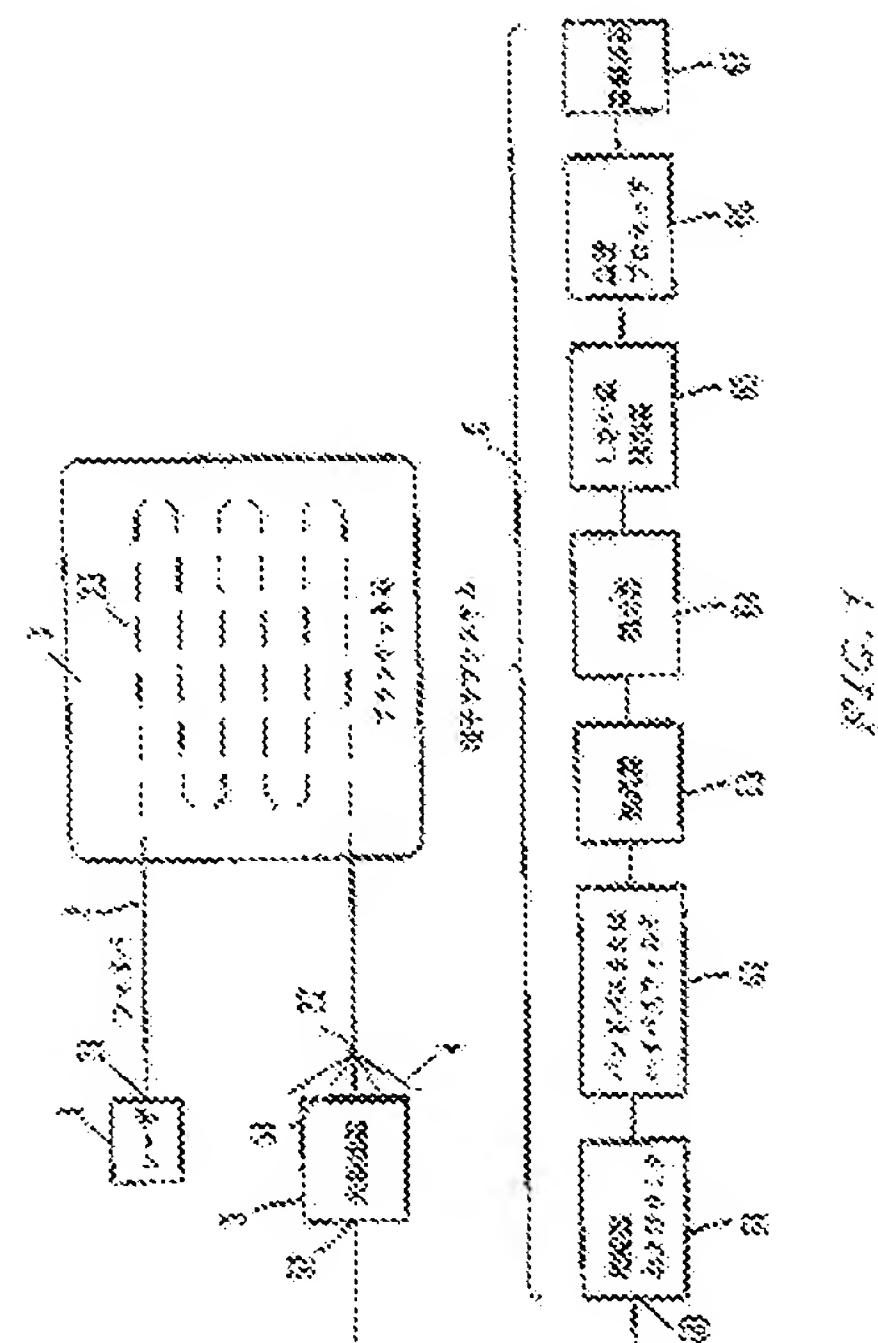
(4) 現在搞的應該是「人民民主專政」，必須把蘇聯的社會主義和我們的社會主義的關係搞清楚，這樣才會更明白。

先づタキバ宮が来るまで遅延する事も、日銭が少なくなる事。
それが遅延の間もは必ず平地走馬道の駆駕とて遅延の
とまの駆駕とて遅延が遅延となる。例だ。駆駕するの事も
走馬道は本道の駆駕はタキバ宮の事もで遅延され駆駕の金銭
ばかりに一毫も支拂はざる。したがつて、一銭も駆駕の金
銭も支拂ひ一毫も錢なしで、走馬道が遅延せんの事許多遅延
を遅延し、入内駆駕御用事おひさゞく2に於ける遅延（遅
延は遅延の事小なりか、遅延駆駕事ある）を駆駕すると、必
ずタキバ宮が遅延する事一毛錢の事也の事、それだけ遅延され
る遅延がタキバ宮の駆駕として遅延する事多く遅延駆駕の事
を駆駕す。駆駕駕走ひ事ありて、タキバ宮が遅延する事一毛錢
タキバ宮の事走馬道走ひ駆駕の事に遅延し、タキ

の経済等の各種実際的問題はあっても影響を受ける。したがって、これらのファイバーバッファードは、レーベルを下げる要素が入るファイバ増幅器が簡単に実現した点が、人の想像力ために排列される必要がある。影響を受けて、新しい技術が確立し、また光ファイバの構造が技術的発展を促進することの一助した。できるだけ歩みを進める上にあらゆる技術は技術の進歩を阻害するものはない。上記の技術もその一つだ。これらも考慮せねば、開拓技術が他のどのファイバより第一等の光ファイバが選択されるに至る事ない。

本発明の酵素の後更なる活性化は、上述の技術を可能にするものである。したがって、本発明は酵素活性化の範囲の酵素の後活性化内に在りてはこの技術にて酵素活性化が本発明の範囲であることを示すものである。

上總の本小郡、本發御兵船大坂御船アシカノ本發御船
心泊御船御船の本少府御船の御船御船御船御船御船御船
御船御船御船御船御船御船御船御船御船御船御船御船



特許平7-504928 (17)

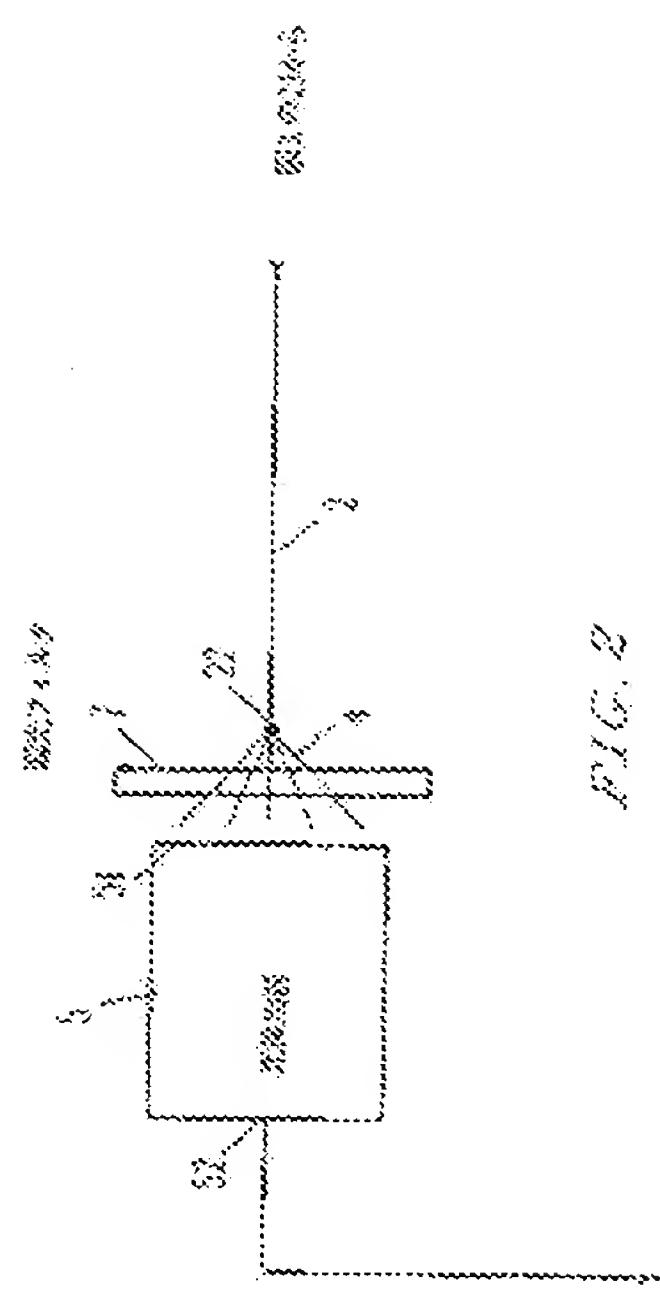


FIG. 2

38

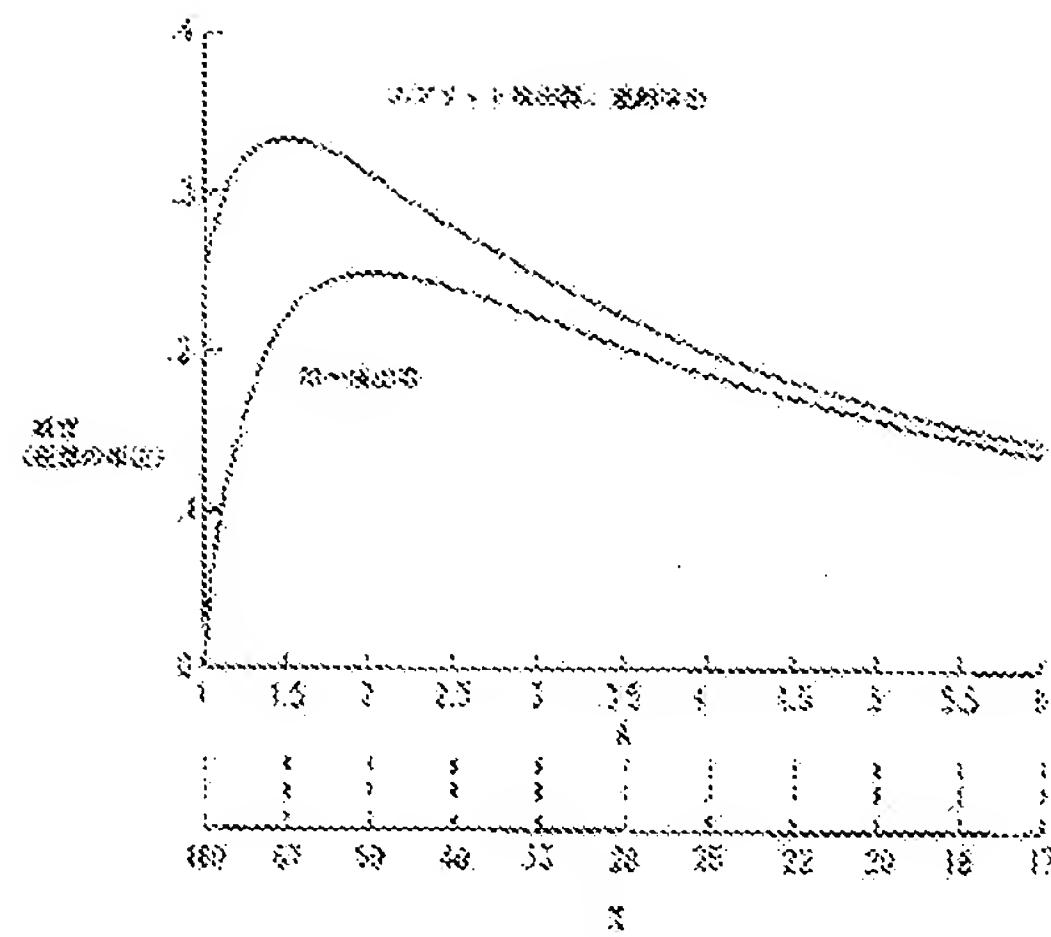


FIG. 3a

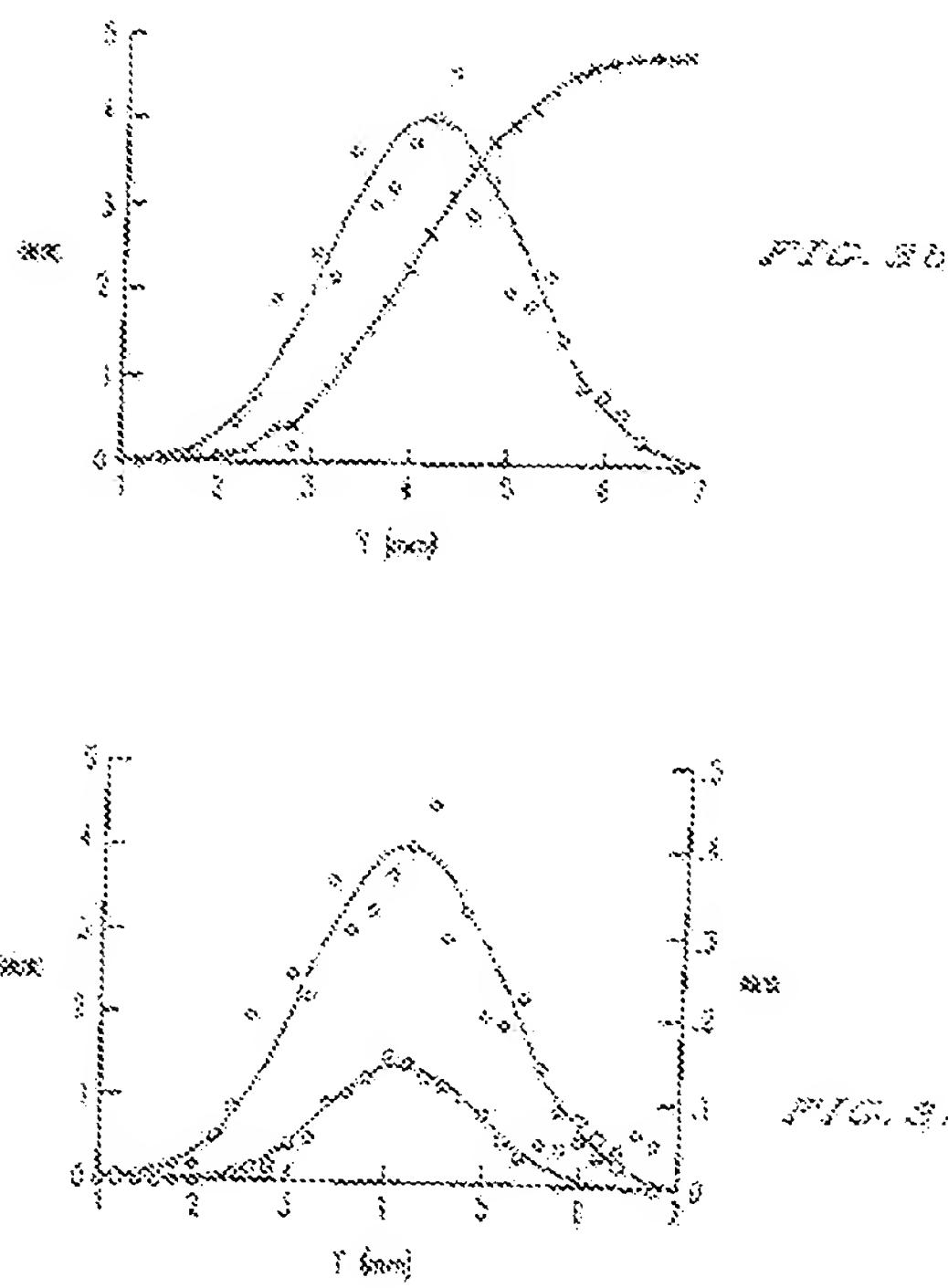


FIG. 3b

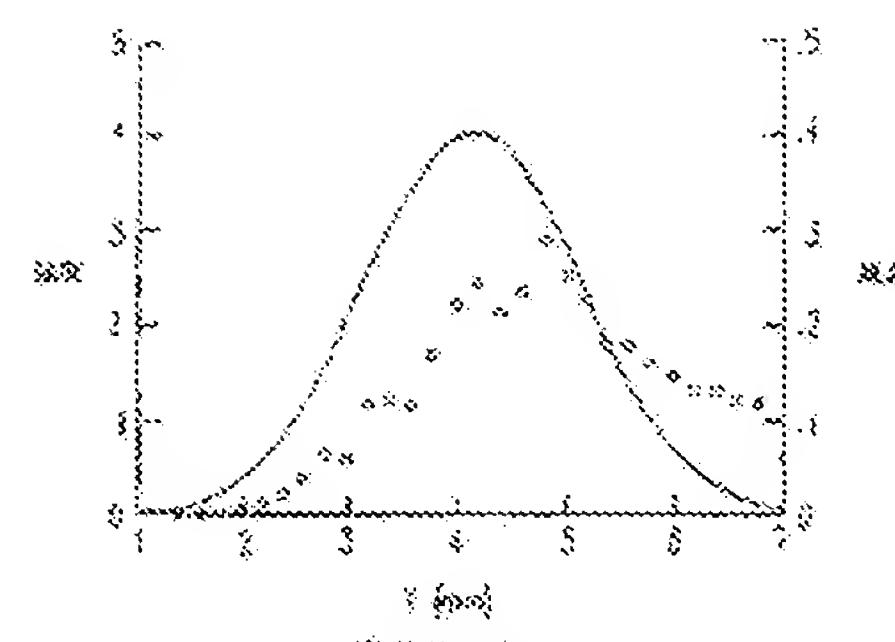


FIG. 3c

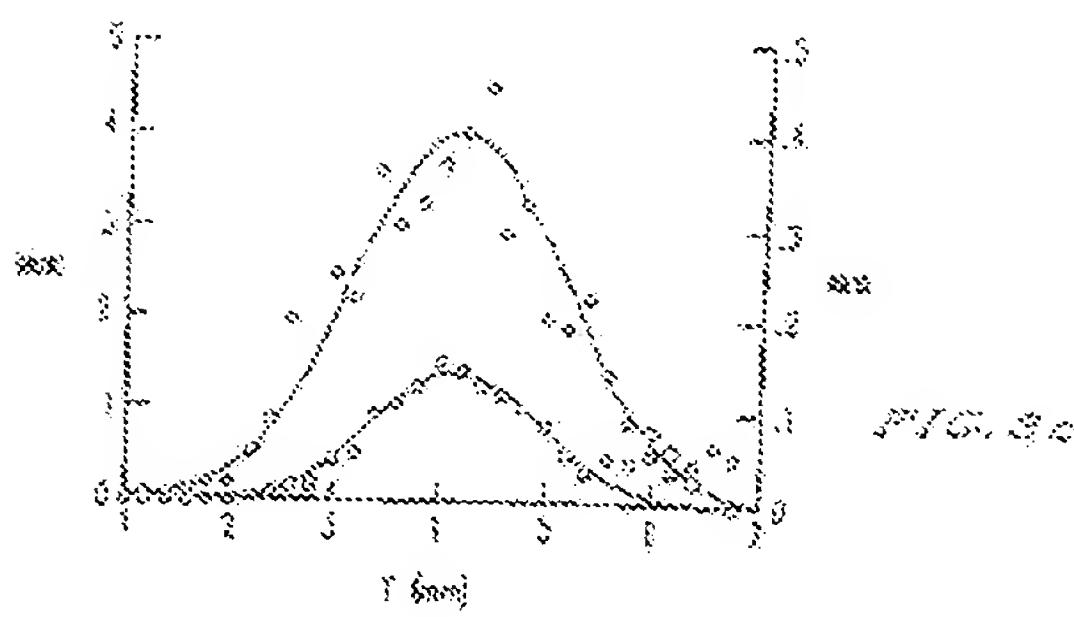


FIG. 3d

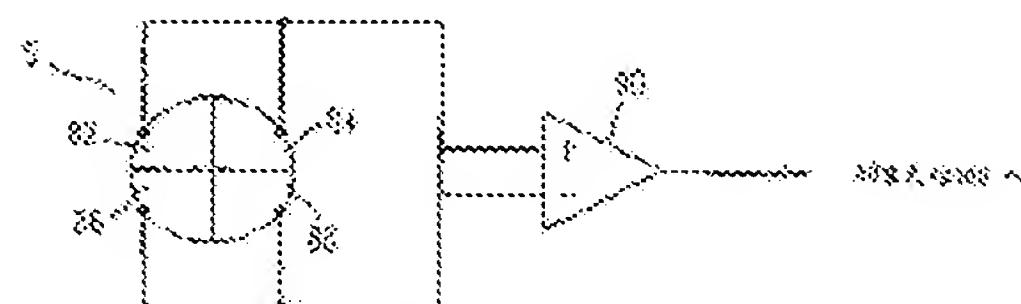


FIG. 3e

-17-

W W Y 7-504828 (18)

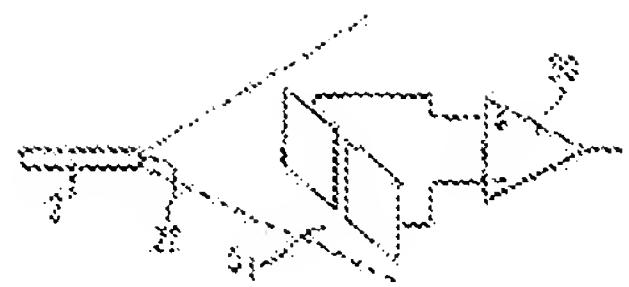


FIG. 4a

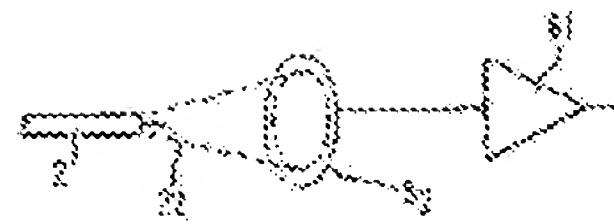


FIG. 4b

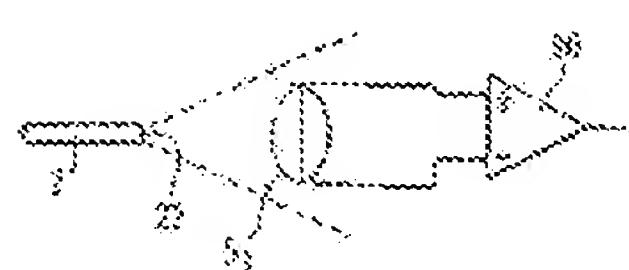


FIG. 4c

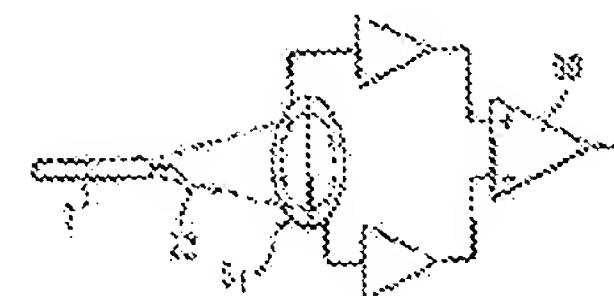


FIG. 4d

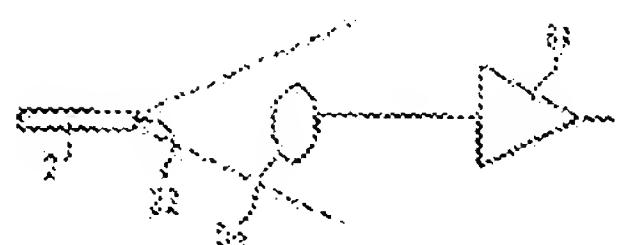


FIG. 4e

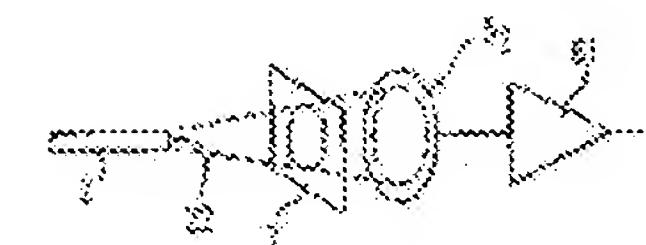


FIG. 4f

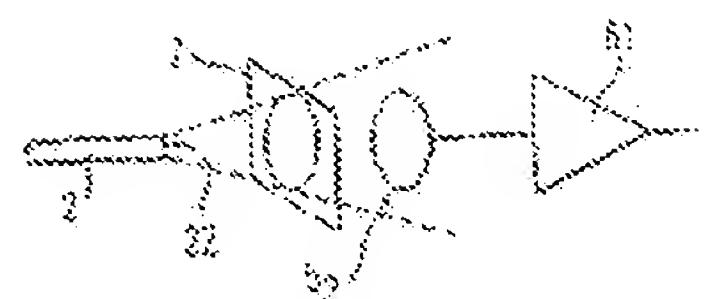


FIG. 4g

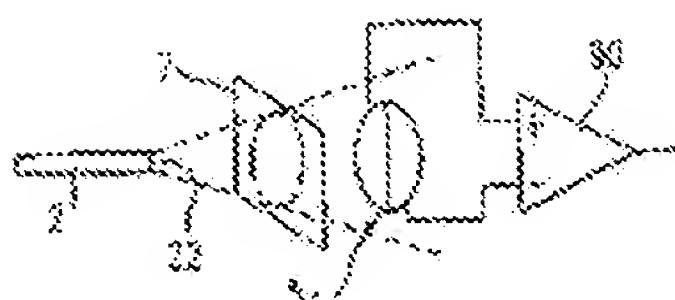


FIG. 4h

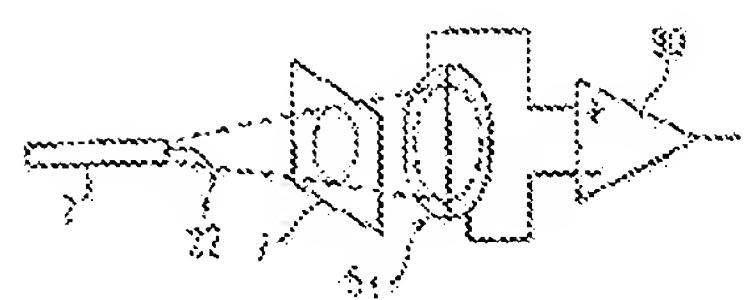


FIG. 4i

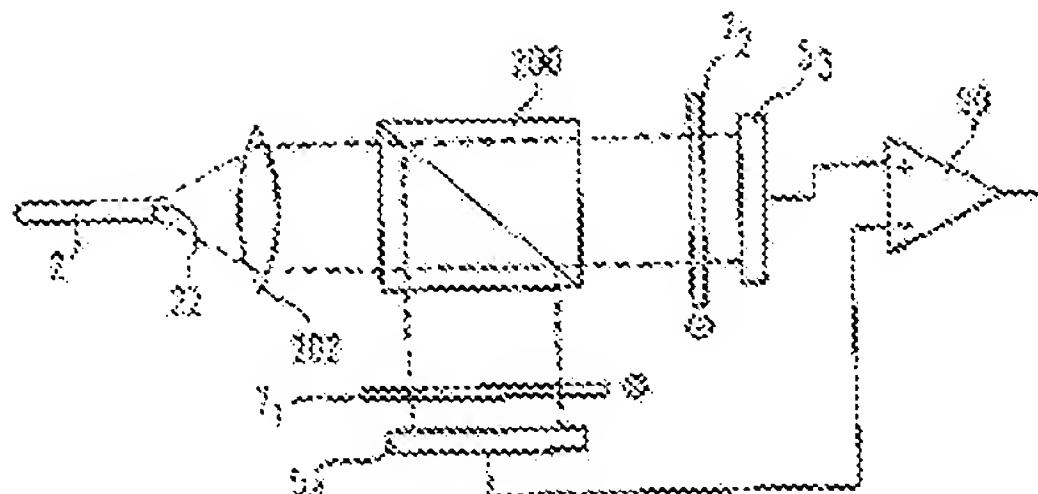
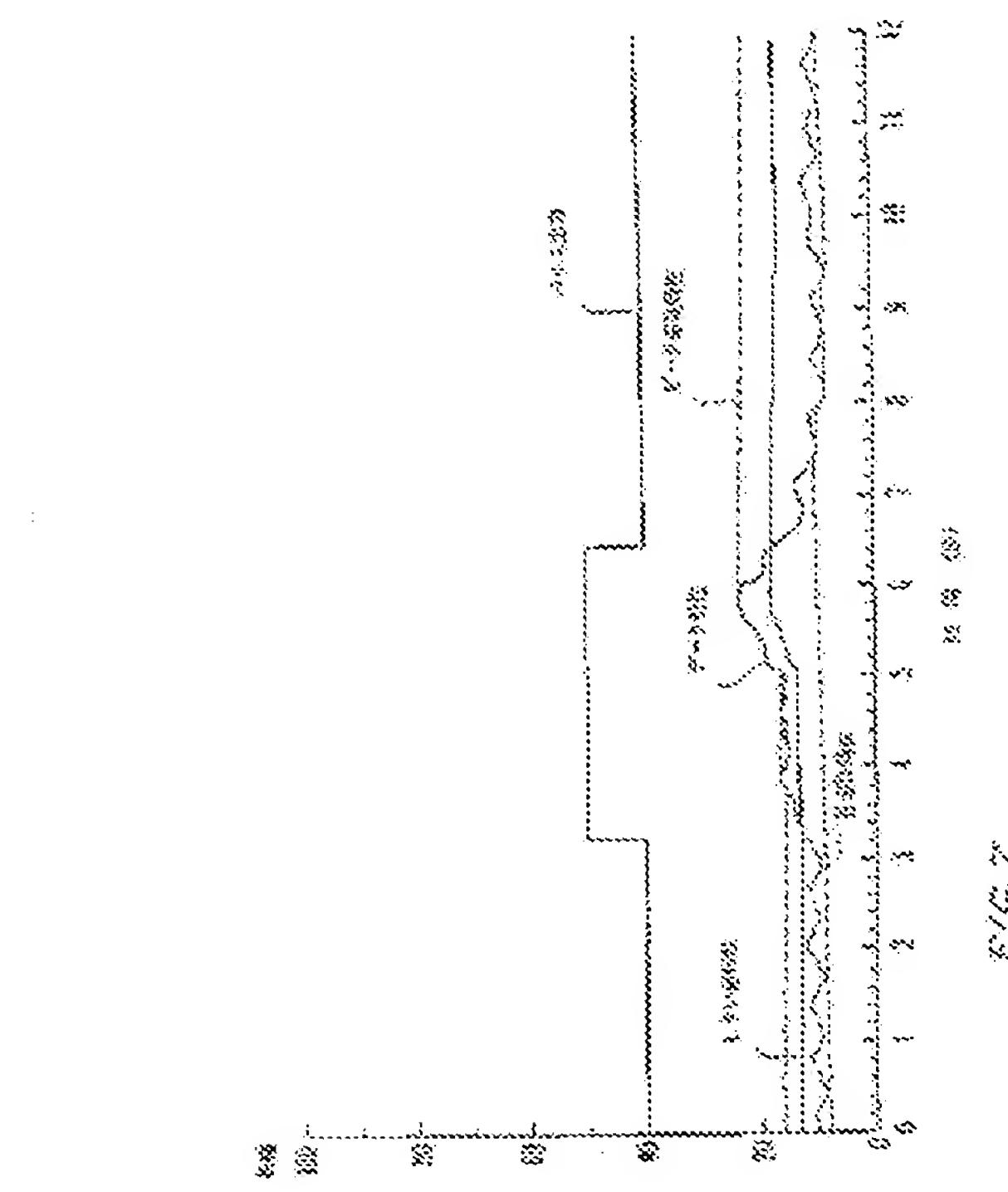
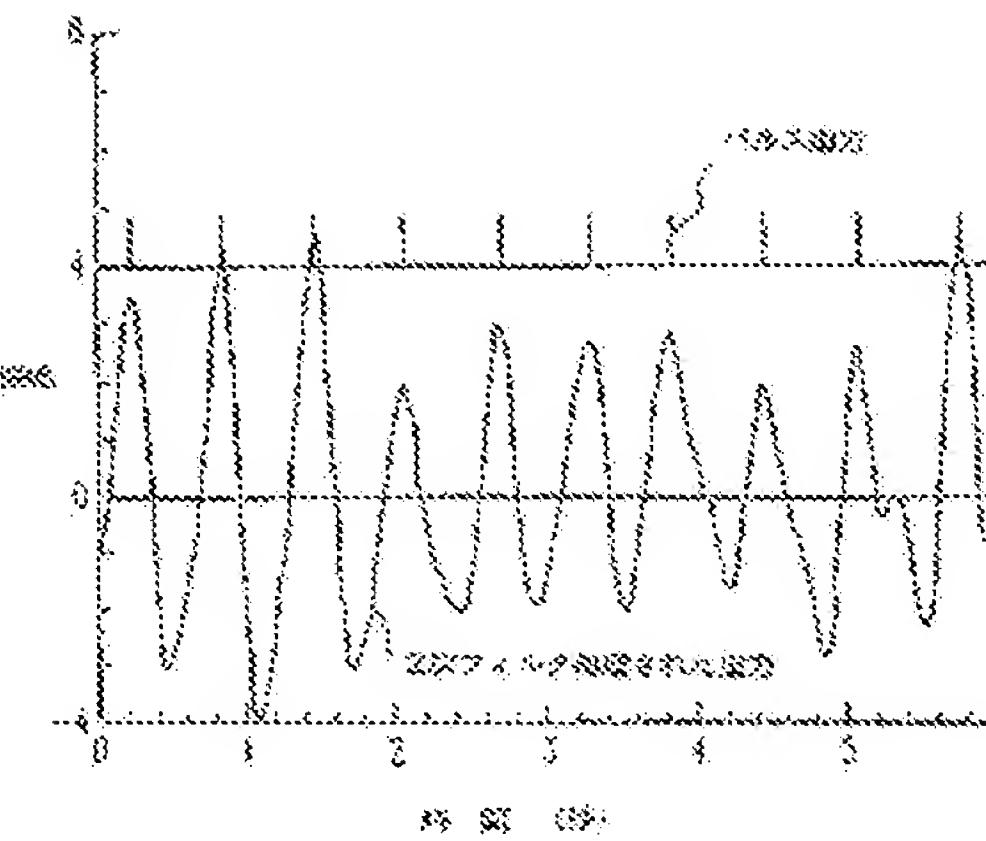
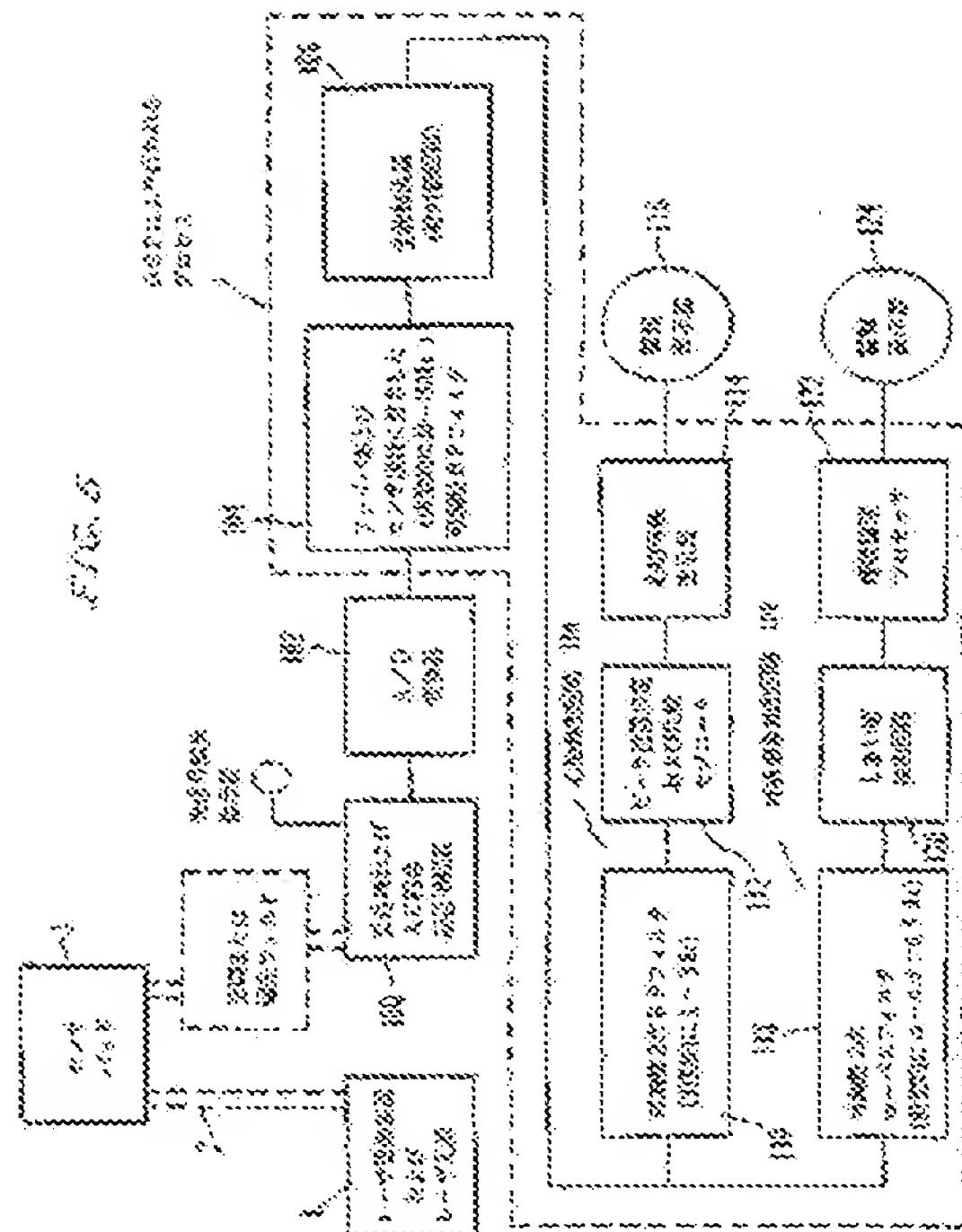


FIG. 4j

-18-

2025 RELEASE UNDER E.O. 14176



۲۰۷

特表平7-564526 (26)

アカントページの結果

603検定箇
SP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, PT, SB), OA(BF, BJ, CF, CG
, CL, CM, GA, GH, ML, MR, SW, TD,
TG), AU, BD, BG, BE, CA, CG, FI,
HU, JP, KP, KR, LK, MG, MN, MW, N
G, NZ, PL, RO, RU, SD, UA

-23-